

科目名	実用英会話[入門]
開講期・単位	1年 春秋学期・選択 0単位・演習
担当者	デントン ルーカス

講義の目的および概要

初めて英会話にふれる方でも楽しく学べる授業です。海外の旅先や道で会った外国の方との会話や、すぐに使える便利な英語表現を使っているテキストを使用し、教員と一緒に声を出して勉強しましょう。新しい表現を学びながら、間違いを恐れずどんどん積極的に英語で聞く、読む、話すスキルを伸ばしていくことが目的です。

講義方法/課題に対するフィードバックの方法

【講義方法】

・テキストを使って話す、聞く練習をする・授業の中で、テキストに含まれていない表現が紹介される・ゲームやロールプレイを通して旅行の場面で英語のやりとりを練習する

【課題に対するフィードバックの方法】学生の授業中の会話に対してアドバイスや役立つ語彙を紹介する

授業計画

授業で使う言葉 Classroom Language p1
 自己紹介と家族 Self-introduction and Family p10
 自己表現 Self-expression p16
 趣味 Interests p23
 感情と病気 Emotions and Illness p30
 場所の説明 Describing Location p38
 許可を得る Asking Permission p46
 気持ちを尋ねる Asking about Feelings p54
 時間 Time p60
 測定 Measurement p68
 説明 Descriptions p76
 比較 Comparisons p84
 経験 Experiences p92
 将来 Future p100
 単元の復習 All Units Review

到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連

【到達目標】

授業以外で積極的に学ぶ必要性に気づき、生涯学習としてEFL(外国語としての英語)を勉強し続けるようになる。授業で紹介された英語表現をカンバセーションでつかうこと。日本語から通訳・翻訳ではなく、英語でやり取りを行うこと。

【卒業認定・学位授与の方針との関連

(DP1)【専門知識・技能を活用する力】

(DP2)【コミュニケーション能力】

(DP5)【能動的に学び続ける力】

成績評価基準と方法

社会人の方に点数を付けられないですが、積極的に勉強に取り組んでほしいと考えています。

テキスト・参考文献

【テキスト】

"On Your Marks!", Student Book (7th Edition), by Lesley Koustaff, Brent Gaston, and Paul Shimizu, Intercom Press

【参考文献】

Essential Grammar in Use (A self-study reference and practice book for elementary students of English, with answers), by Raymond Murphy, Cambridge University Press

授業外学習

【具体的な内容】

流暢な英語を話したい方は毎日復習や独り言を行ってください。

【必要な時間】

予習・復習の時間は2時間を目安とします。

その他

教員が紹介する学び技法以外、自分に合った勉強方法を見つけましょう。毎日英語に触れることを目標にしましょう。

科目名	実用英会話[初級・秋]
開講期・単位	1年 秋学期・選択 0単位・演習
担当者	藤垣 エミリア

講義の目的および概要

このコースは、Communicative language classと名付けることができます。実際に日常英会話によく使う表現や語彙を学び、一般的な言葉 (colloquial language) を使うことが目的です。テキストのBuilding FluencyのセクションやCDのリスニングなどはコンパクトで、使いやすい。このクラスでは、クラスメイトと英語でお話しすると同時に、自分のヴォキャブラリーを増やすことができます。

講義方法/課題に対するフィードバックの方法

[講義方法]

- ・一部はペアワーク・グループ形式で行う。
- ・スピーキング中心に行う授業であるが、ライティングとリスニングアクティビティーもあります。
- ・テキストがメインですが多読の紹介もあります。

[課題に対するフィードバックの方法]

テキストで紹介される表現や文法的なストラクチャーをより深く理解・身に着けるため、課題を出し、添削をした後、戻す。

授業計画

Orientation・多読の紹介・テキストについて・Greetings・class CD

Unit 5-10 Review

Unit 11 Home sweet home (first part)

Unit 11(second part), grammatical section

Unit 12 The Life of the party (first part)

Unit 12 (second part), grammatical section

Unit13 Aussies are so cool (first part)

Unit 13 (second part), grammatical section

Unit 14 World's worst cook (first part)

Unit 14 (second part), grammatical section

Unit 15 Lucky dog (first part)

Unit 15 (second part), grammatical section

Unit 16 I want to be a superhero (first part)

Unit 16 (second part), grammatical section

Review of the Units 11-16

到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連

[到達目標]

基本的な英会話を身につけ、様々な場面に対応できるようにする。

[卒業認定・学位授与の方針との関連]

(DP1) [専門知識・技能を活用する力]

(DP2) [コミュニケーション能力]

(DP5) [能動的に学び続ける力]

成績評価基準と方法

評価なし

テキスト・参考文献

【テキスト】Impact Conversation 1, by Sullivan, K. & Beuckens, T.
出版社: Pearson Longman

【参考文献】
Essential Grammar in Use (elementary level), by Raymond Murphy, 出版社: Cambridge University Press

授業外学習

【具体的な内容】

毎回繰り返し復習を行うことが不可欠です。言語学習には繰り返し練習する大切さに気付いて、自らたくさん復習すること。英会話を楽しみながら新しい表現を身につけ、実践的に取り組むこと。テキストの内容は実際の英会話にすぐ使える表現を紹介しているので、覚えて使うこと。

【必要な時間】

個人差がありますが、予習・復習の時間はそれぞれ2時間を目安とします。

その他

自分の英語のレベルアップを目指すなら、活動的な参加がとても必要なため、欠席や授業に遅れないように気をつけること。

<p>講義の目的および概要</p>	<p>実用英会話「中級・秋」は、学習者が社会問題について話す際の自信、流暢さ、柔軟性を養うよう設計されている。ディスカッションのためのアドバイスが満載で、グループで問題を討論するチャンスもある。英語で英語を学びましょう。</p>
<p>講義方法/課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>【講義方法】 一般的なパターンは、短いインタラクティブな講義の後、ペア・ディスカッション、ネイティブの本物のリーディング教材やリスニング教材を使ったグループワーク、ディスカッションを行います。ディスカッションの授業では、前の授業や宿題で学んだことを表現することに重点を置く。学習者は、教師の指導のもと、クラスで自分の意見を発表できるようになる。教師は、生徒が授業中に発言できる時間を最大限に確保します。</p>
<p>授業計画</p>	<p>①Topic 1 - What does it mean to be “healthy” ? ②Discussion ③Topic 2 - Why is society less “connected” ? ④Discussion ⑤What is the value of “art” ? ⑥Discussion ⑦Presentations ⑧How can we be “explorers” ? ⑨Discussion ⑩Is “gaming” good? ⑪Discussion ⑫What is “creativity?” ⑬Discussion ⑭Presentations ⑮Review</p>
<p>到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連</p>	<p>【到達目標】 自由に話す自信と、様々な相手とコミュニケーションをとるための語彙の柔軟性を身につけることができる。 学習者が自信を持って自律的に話し、会話を続け、相手と対話することができるようにする。</p> <p>【卒業認定】 (DP1) 【専門知識・技能を活用する力】 (DP2) 【コミュニケーション能力】 (DP4) 【多様性の理解と協働する力】</p>
<p>成績評価基準と方法</p>	<p>ポキャブラリー、ディスカッション・スキル、発音、リーディング、リスニングの改善点を講師がアドバイス。</p> <p>テストはありませんが、学習者は英語で発表する機会があり、定期的にグループ・ディスカッションに参加します。</p>

<p>テキスト・参考文献</p>	<p>【参考文献】 『Reflect: Listening and Speaking 3』 著者：Laurie Blass & Mari Vargo 出版社：Cengage Learning</p> <p>講師が補助的な資料を配布する。</p>
<p>事前事後学習</p>	<p>【具体的な内容】 授業の前に、ノートを予習し、講師に質問したいことを書き、レクチャーのメモを書き、授業で質問する。</p> <p>【必要な時間】 授業後、ノートを見直す。インプットの宿題読んで聞いてから、授業外でも意見を準備するが奨励される。</p>
<p>その他</p>	<p>英語のトピックに出会えば会うほど、使える言葉の幅が広がります。Why not try!</p>